COMPASS 発達支援センター吉富 Kindi

令和４年２月１１日討議

児童発達支援事業所における自己評価票（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容及び工程表
環境・体制整備	1			法令の基準は満たしていると思います。2部屋でその場に合わせた活動をしています。 またレイアウトなども適宜変更等をおこない、利用児童が快適に過ごせるようにしております。	今後配置が必要な児童の利用があった場合は工夫や配置を検討します。
	2			法令の基準は満たしていると思います。発達支援管理責任者を位置づけ、児童発達支援管理責任者を配置しています。	今後も様々なニーズに応えられるように、まとまった時間にレスを提供できるように専門職の配置に努めていきます。
	3			生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているのか、また、子ども達が安心して活動に専念できなっている	各エリアにはその場所の活用方法を示すようにわかりやすい表示がされています。 教室内は温度フラットですが、一つ所程度の高さ、また定期的に石鹸がかかり、感染症対策の為、手洗、消毒などの注意喚起、その場での対応をこころがけ対応をこと、危険防止に努めております。	今後、配置の必要な児童の利用があれば、現在の教育手順マニュアルの修正、設置も考えていきたいと思います。
	4			毎日の清掃に努め、事務や教室内は清潔を保っています。 定量の活動における時間を工夫しながらなど、常にお部屋がきれいなことが、ご利用者様にとっても安心感を与えていると思っております。	今後も教室管理を徹底し、場面に応じた活動がスムーズに安全におこなえるよう環境を整えていきます。
	5			業務改善の目標設定表の工・計画には職員が参加しています。 全職員が参加の心構えをもとめ、議論し、考えることで共通理解に努めております。	今後もＰＤＣＡサイクルを意識した取り組みをおこない、話し合い等を有効活用できるように環境を設定し、職員の自動的な生じています。
業務改善	6			昨年の８月に開所し、今年初めての保護者向け評価表により、保護者アンケートを実施いたしました。 そこでいただいた意見を参考にさせて頂き、ご要望や課題を洗い出し、職員全体で話合い、改善策を検討し業務改善に努めております。	今後もアンケート実施結果でいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、今後、より良い支援のためさらに職員全体で検討し、迅速に業務改善をしていきます。
	7			事業所内は子ども目線を及び保護者向け評価表を設置し、事業所としての評価を行うとともに、その結果による改善内容とその進捗の内容を、事業所の会議やホームページ等で公開しています。	今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開をおこなっていきます。	今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開をおこなっていきます。
	8			第三者による外部評価を有り、評価結果を業務改善につなげている	現時点では第三者による外部評価は行っていません。	第三者から外部評価受審していき、今後の検討課題と考えています。
	9			職員の資質向上の取り組みを定期的に行っており、研修の機会を確保している	現在コロナ禍のため、外部研修や会や関係者会合などが、ほとんど、参加の機会は減っています。法人で教育機会を設けていますが、それでは、それを取り入れた研修を充実させていきます。 スマホやパソコンを使用しての職員もそれぞれ担当ごとの活動し資料作成に努めております。	比内研修も継続し新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、外部研修も積極的に参加し、職員の資質向上に努めていきます。
	10			アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作っている	初回面接時には保護者様には、丁寧に説明をおこなっています。 アセスメントを実施しています。 また、保護者様のお悩みなどのヒアリングをおこなお時間を、それも充実した時間を設けています。 利用児童のことを心に知るために、また、お悩みなどの相談を受ける時間を設けて、個々ケ（以前利用していた事業所や園、医師機関等）からの情報を集め、支援計画に活かしています。	利用開始後も児童の状態や保護者様からの意向を汲まえ、それぞれ、個別の対応をしていき、ニーズに応じた柔軟な修正を利用し、個別支援計画を作成していきます。
	11			子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	COMPASS で共通したアセスメントツールを使用しています。 ムーブメントの中で、ムーブメントとの内容決定等を把握できるように努めています。	今後も、より一層ムーブメントの状態を確認できるよう、事業所間で協議し、アセスメントシートの改善につとめます。
	12			児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び保護者に対する支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	保護者様ご意向や利用児童の特性や今の様子、過去の経験から選択できるように努めております。 また、各支援内容の内容を、保護者様支援ガイドラインを踏まえ、具体的な、具体的な提案内容の設定をおこなっております。	定期的に、利用児童の状態や保護者様の意向を確認し、個別支援計画を作成していきます。
	13			児童発達支援計画に沿った支援が行われている	児童への支援は、支援計画に沿っておこなわれるように設定や流通環境と認識一致を図り、能ったな支援が出来るよう努めています。	今後も児童発達支援計画に沿った支援がおこなわれるよう努め、児童の状況に合わせた支援内容の検討や変更を定期的におこなっていきます。
適切な支援の提供	14			活動プログラムの立案をチームで行っている	活動プログラムの立案は、児童発達管理責任者が中心となっておりますが、職員一人一人が日頃の子どもたちの中で感じたこと、児童に合わせた内容などを提案を自由に出し合い、立案に反映しています。	今後も、全職員が意見を出し合える環境作りをさらに工夫し、立案するように努めます。
	15			活動プログラムが固定化しないよう工夫している	COMPASS では学習を中心とした プログラムを実施しております。 学習ではムーブメントのコミュニケーション遊び、ボディーコミュニケーションゲーム、ムーブメントを中心とした活動を実施しています。 また、毎月学習内容を変更し、計画を作成の中、季節に応じた表作活動、レクレーションなどを入れ、固定化せず、飽きさせることの無いように工夫しています。	今後も固定化を避け、児童一人ひとりの発達段階に合わせ、学習を通してやるプログラム、季節に合わせた行事など、多彩なプログラムを実施していきたい思います。	
	16			子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切組み合わせて児童発達支援計画を作成している	一人ひとりの特性に合わせた内容を組み、子どもに合った内容で、個別活動を適宜組み合わせて作成しております。 これら個別活動計画に組み込んで作成しております。	今後も児童一人ひとりに合わせた活動内容を工夫し、希望など有り入れた内容を盛り込み、個別支援計画を作成いたします。	
	17			日々の支援に関する情報共有のため、ミーティングを行っている	毎朝ミーティングにて打ち合わせをしています。 その日の予定はもちろん、安全性や、なにもしかも、毎日の支援内容の確認や、ケース会議などおこない、支援の検証や改善に努めています。	今後も、毎朝ミーティングにて打ち合わせをしていきます。	
	18			支援終了時には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や変数対応について確認している	その日の終了ごとに、ケース会議や、支援の検証を行ったり、職員間で、情報共有をおこなっております。	今後も、支援内容の検証や、改善に努めていきます。	
	19			母子保健やそれぞれ・子育て支援等の関係者や関係機関と連携し支援を行っている	児童を取り巻く関係者把握したうえで、関係機関や、情報共有をおこなっております。	今後も関係機関との連携を強め、より支援が出来るよう努めていきます。	
関係機関や保護者との連携	20			（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携し支援を行っている	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	今後、医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	
	21			（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や地域医療機関等と連絡体制を整えている	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	今後、医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	
	22			移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	現在、該当する児童はいませんが、今後該当する児童がいらっしゃれば、関係機関との情報共有や相互理解に努め、支援に活かしていきます。	現在、該当する児童はいませんが、今後該当する児童がいらっしゃれば、関係機関との情報共有や相互理解に努め、支援に活かしていきます。	
	23			移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	現在、該当する児童はいません。 今後該当する児童がいらっしゃれば、関係機関との情報共有や相互理解に努め、支援に活かしていきます。	現在、該当する児童はいません。 今後該当する児童がいらっしゃれば、関係機関との情報共有や相互理解に努め、支援に活かしていきます。	
	24			地の児童発達支援センター や児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や相談を受けている	今年度は、コロナ禍のため、お問い合わせ の研修には参加できませんでした。	今年度は、コロナ禍のため、お問い合わせの研修には参加できるよう努めていきます。	
	25			保育所や幼児園などの集団活動等に参加し、お互いの良さを学ぶ機会を設けている	コロナ禍の感染症拡大防止のため、保育所や幼児園、幼稚園、などの交流や活動はできておりません。	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、同時に、コロナ禍の状況を踏まえて近隣の保育所や認定こども園と交流を検討していきます。	
	26			保育所や幼児園などの集団活動等に参加し、お互いの良さを学ぶ機会を設けている	今年度から地域の自立支援協議会（こども部会）へ参加しております。 コロナ禍の為、オンラインでの会議となっておりますが、開催される際は積極的に参加しております。	今後も自立支援協議会の部会員として参加し、意見等を出し合って地域活動をおこなっていきます。	
	27			日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	定期的に面談を行っています。 また、ご要望の内容に応じて、お話しの時間を設けたり、ご相談の時間を設けたり、ご相談等を受けております。 ペアレントプログラム・保護者セミナーなどを、児童の情報共有や共通理解に取っています。	今後も保護者様との情報交換を図り、共通理解に努めます。	
	28			保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	保護者様への対応力の向上の手段として、法人で配信している研修動画を保護者様へ配信しています。 専門的な観点から発達支援相談会やセミナー、研修会などを企画し、参加を呼びかけています。 ペアレントプログラム・保護者セミナーなどを、児童の情報共有や共通理解に取っています。	定期的に、研修動画を保護者様へ配信していきます。 専門的な観点から発達支援相談会やセミナー、研修会などを企画し、参加を呼びかけていきます。	
	29			運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	利用契約時には各書面において丁寧な説明を実施しております。 運営規程は事業所入口付近に掲示を、利用者負担等の変更もその都度説明しております。 支援内容についての変更については、説明文書にて、お知らせしております。	今後も契約時はもちろん必要に応じて保護者様が安心して利用いただけるよう丁寧に説明していきます。	
	30			児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び保護者に対する支援）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	ガイドラインを踏まえ、保護者様のご意向や児童の特性を理解しながら、必要な支援内容を、ご説明しております。 また、ご要望や、ご意向を、ご相談の中で、お聞きしております。 また、保護者様支援計画の作成や、ご意向の、同意の確認は、丁寧な説明に努めています。	今後も保護者様のご意向や児童の特性を理解しながら、必要な支援内容を、丁寧にかかりやすい説明に努めています。	
保護者への説明責任等	31			定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者様からの子育てに関する質問や相談に対して、法人で配信している研修動画を保護者様へ配信しています。 専門的な観点から発達支援相談会やセミナー、研修会などを企画し、参加を呼びかけています。	今後も保護者様の相談内容に応じて、法人で配信している研修動画を保護者様へ配信していきます。	
	32			父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	現在コロナ禍にあるため、残念ながら開催出来ておりません。 父母会の活動や、保護者様同士の「悩の相談」や、もより関係の子どもたちの交流を支援しています。	子育ての情報交換の場としても大いに有用だと思っております。 今後、コロナ禍が収まれば、万全の準備をして開催を目指したいします。	
	33			子どもや保護者からの相談や申し入れに対して、30日以内を目安に、子どもや保護者に対し、相談や申し入れとの、内容に対して、子どもや保護者に対し、相談や申し入れとの、内容に対して、子どもや保護者に対し、相談や申し入れとの、内容に対して